

町内小中学校で、フッ化物洗口が始まります

高森町では、今年度から『フッ化物洗口』を小・中学校で行います。

学校で行う自治体は、熊本県内でも少なく先進的な取組として注目を集めています。

高森町では、子どもたちの健康な歯のために、1歳半頃から希望者に対しフッ素塗布を実施しています。

また、その効果を継続するため3歳以上の保育園・幼稚園児に対して地域歯科医師会の指導と県の支援により、町の保健事業としてフッ化物洗口を実施しています。それを今年度より小中学校でも行うことになりました。

フッ素とは

フッ素は自然界に広く存在しているものです。人体中、土の中、海の中、植物、動物などに必ず含まれている栄養素です。しかし、通常食物から摂るフッ素の量では、むし歯を抑えるには不足しています。

す。

フッ素はどんな働きをするの【むし歯予防の3つの効果】

- ① 歯を強くする
- ② 再石灰化を促進する
- ③ 原因菌を抑制する

フッ素の安全性

フッ化物利用によるむし歯予防については、多くの研究者や研究機関が50年以上にわたって再三の確認を行い、安全かつ有効であるとの結論がでています。

フッ化物洗口とは

フッ化ナトリウムを用いた洗口液でうがいをする方法です。週1

回法と週5回法があり、うがいが上手にできる4歳頃から永久歯がそろった中学生まで行えば、むし歯を約半分に減らせれます。小中学校では、週1回法で実施します。フッ化物洗口の開始にあたって、歯科医師会より歯科保健に関する講話を実施しました。



▲阿蘇郡市歯科医師会 片山先生の歯科講話の様子（朋遊館）